

○施設サービス計画と進行管理、記録

施設サービス計画は、3か月ごとにアセスメント（151項目）を行い必要に応じて計画の変更を行っている。また、介護記録、事故報告等の各種記録、各種マニュアル等は全てインターネット上のクラウドサービスで閲覧できる。

介護マニュアル等には動画を取り入れた形で手順等が説明されており、理解のしやすさと閲覧のしやすさが工夫されている。また、介護記録等は家族も閲覧と書き込みが可能な環境を整備している。

○地域との連携

庭の開放や施設内には駄菓子屋と図書館を開設し、地域の方々が施設に足を運べる環境を整え、地域住民との交流の場となるよう積極的に施設設備を開放しており、近隣の子供から大人までよく利用している。また、子ども食堂の開催や利用者、家族、地域住民が交流できる多数のイベントを開催している。

○その他

利用者の暮らしに寄り添う時間を確保し、豊かな暮らしの実現に向けて、ICTの活用及び普及活動を行い、完全ペーパーレス化による効率化を図っている。

○地域との連携

地域の高齢者が参加する高齢者の会が自主活動する場として、事業所のコミュニティスペースを提供している。また、施設の行事をとおして利用者と職員との交流を図り、当該事業所の理解促進につなげている。さらに、災害時の対応として地域住民と連携し、被害を想定した避難訓練を実施している。

○ヒヤリハット・事故発生時の対応

事故事例やリスクマネジメントの基本の他に、報告に基づく事故やヒヤリハットの事象を分析して検討結果と防止対策を理解しやすく的確に記録した事故発生防止指導書を作成し、事故防止に努めている。

○その他

医師、訪問看護師、薬剤師及び介護事業所が利用者の情報を共有できるシステムを活用して、利用者のケアに役立てている。また、認知症に係る地域住民や関係機関からの相談等に対応している。